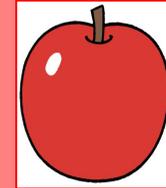
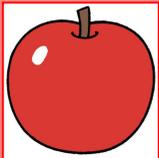


りんごぐみ (3歳児)

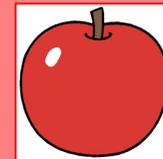


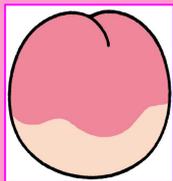
「ゆきのこえ」が聞こえたよ！



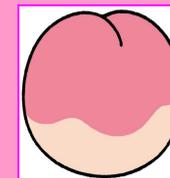
2月4日

雪が降って大喜びのりんご組さん。絵本『ゆきのこえ』を読むと、足跡を付けたり、寝転んだり、雪だるまを作ったりするときの“音”に注目して真剣に見ていました。絵本を読み終えると「早く雪遊びしたい！」「どんな“こえ”聞こえるかな？」とわくわくしながら園庭へ向かいました。雪の上を歩きながら「先生！“ざくざく”って聞こえる！」「“ぼこぼこ”って聞こえるよ！」「“ぎゅっ”てなった！」と様々な“ゆきのこえ”を発見し、楽しんでいました。また、寝転んだ際の跡を見て「(上着の)チャックの跡おもしろいよ！」「頭の形になった！」と知らせてくれる子や、田んぼの水の中に雪を入れ、「白から茶色になったよ！見とって！」と見せてくれる子もいました。寒さに負けず、冬ならではの雪遊びを思い切り楽しみました。





ももぐみ (2歳児)



園庭で雪遊びをしたよ



2月6日

雪の降る日が続き、「雪、降ったね～」「お外で遊べる？」と雪で遊ぶことを楽しみにしていたもも組さん。「今日はお外で雪遊びしよう！」と声をかけると、「やったー！」と大喜び。自分で積極的にスノーウェアを着たり、手袋を着けたり頑張る姿も見られました。園庭には30センチメートル程の雪が積もっていて、足跡のついていないふわふわの雪の上にゴロンと寝転んでみたり、雪玉を作ってみたり、雪の上をゆっくりと歩いてみたり…。「冷たいねえ」と言いながらも、雪遊びを楽しんでいた子どもたちでした。氷点下の日には氷作りも楽しみました！

